

京都大学記者クラブ加盟社 各位

2021. 11. 12  
<配信枚数2枚>

嵐電沿線協働緑化プロジェクト スピンオフ企画  
**京都府指定絶滅寸前種「フジバカマ」で草木染と匂い袋づくり**

日時：2021年11月13日（土）、27日（土）9時～12時

場所：立命館大学衣笠キャンパス内 きぬがさ農園

嵐電沿線の地域のボランティアの皆様、京福電気鉄道株式会社の社員の皆様、および立命館大学の学生・教職員で構成する「嵐電沿線フジバカマプロジェクト」の一部メンバー（※）は、11月13日（土）と27日（土）、京都府の絶滅寸前種に指定されている「フジバカマ」（キク科の多年生植物）で、草木染と匂い袋づくりを行います。

※地域のボランティアの皆様、立命館大学の学生・教職員で構成

本件のポイント

- 京福電気鉄道株式会社と学校法人立命館が「連携・協力に関する協定」に基づき、京都府指定絶滅寸前種フジバカマの保全活動に取り組むプロジェクト。衣笠キャンパスでフジバカマ約900本を挿し芽から栽培
- 冬枯れ前のフジバカマを刈取り、草木染めと葉や茎を詰めた匂い袋づくりを行うスピンオフ企画
- SDGsの目標15「陸の豊かさを守ろう」、SDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」に基づき、地域と連携したフジバカマの保全活動を継続。ネットワークの拡大を目指す



布の下染めを実施[11月6日(土)]

今回は、事前に下染めした布を使い、草木染めと匂い袋づくりを行います。梅染友禅・梅染師の山本晃氏を講師としてお招きし、生物の命の尊さや草木染めの文化への理解を深めます。

記

- 日時：① 2021年11月13日（土）9：00～12：00  
【フジバカマの収穫、草や茎を使った本染め、乾燥】  
② 2021年11月27日（土）9：00～12：00  
【フジバカマ色に染まった布袋と乾燥させた葉や茎で匂い袋作り】

会場：立命館大学衣笠キャンパス内 きぬがさ農園（体育館南側）

※取材をご希望される場合は、広報課までご連絡ください。

以上

- 取材・内容についてのお問い合わせ先  
立命館大学広報課 担当：遠藤  
TEL.075-813-8300

## ■木綿の布に下染めをする様子[抜粋、11月6日（土）実施]

---



フジバカマを煮沸して色素を抽出した薬液を作成



フジバカマの青葉で作った薬液で布を染色

## ■フジバカマ（キク科の多年生植物）

---

「秋の七草」のひとつ。万葉集や源氏物語をはじめとする古典文学などで、古くから人々に親しまれてきた。都市化や環境の変化で激減し、現在、京都府の絶滅寸前種に指定されている。府内では、様々な住民団体や社寺などがフジバカマの育成・保護活動を行う。

## ■嵐電沿線協働緑化プロジェクト

---

2010年の嵐電開業100周年に向け、駅の美化と季節感の演出、環境保全を目的に、駅と沿線地域の緑化を目指し、2006年に沿線のボランティアの皆様と京福電気鉄道株式会社の社員の方で発足されました。沿線の緑化活動・各駅のプランターの世話を始め、沿線の小学校で園芸教室を開催し、子どもたちに緑化への取り組みを体験してもらうとともに、駅に設置した雨水タンクを普及するためのイベント「雨水タンクスタンプラリー」の開催などを主な活動としています。

## ■京福電気鉄道株式会社と学校法人立命館の連携・協力に関する協定

---

京福電気鉄道株式会社と学校法人立命館は、2020年3月13日（金）に地域社会の発展および人材育成への貢献等を目指し、連携・協力に関する協定を締結しました。同協定に基づく具体的な連携事業として、「地域貢献に関すること」や「SDGs推進に関すること」を掲げており、嵐電沿線協働緑化プロジェクトもその一環として実施しています。